

第3章 人口の将来展望

1. 求人・求職の現状

人口の将来を展望するために、既存のアンケート調査等から地域住民の結婚・出産・子育ての希望を把握した。

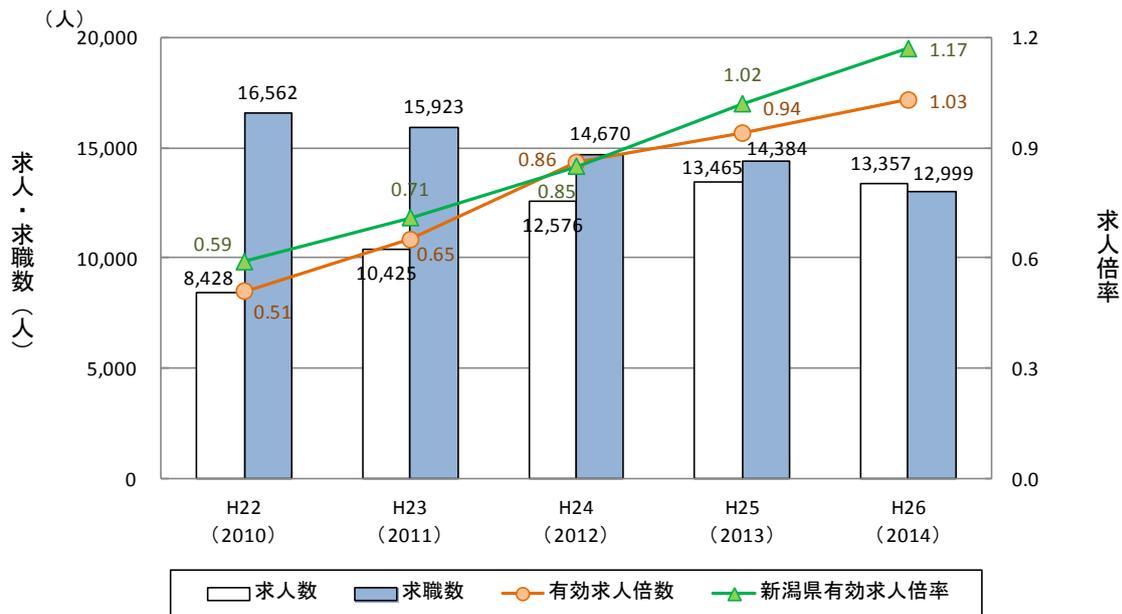
求人数は平成22年から平成25年にかけて増加し、平成26年は求職数を上回っている。一方で、職種別にみると、専門・技術職、販売職、サービス業、建設・採掘では求人が多いものの求職が少なく、事務職や生産工程、運搬・清掃・梱包等では、求職が多く求人が少ないといった、求人と求職のミスマッチも多くなっている。

有効求人倍率は概ね新潟県全体と同程度で推移している。

表 3.1 最近1年間の求人・求職数（パートを含む全数）

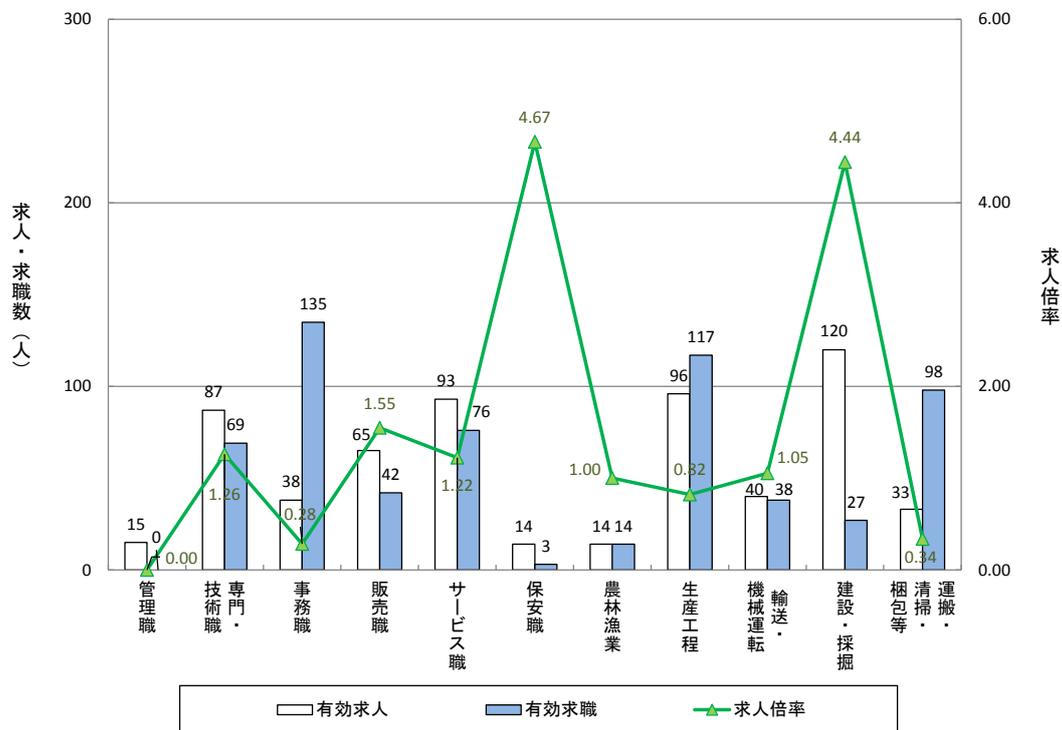
年度	求人数	求職数	有効求人倍数	新潟県有効求人倍率
H22(2010)	8,428	16,562	0.51	0.59
H23(2011)	10,425	15,923	0.65	0.71
H24(2012)	12,576	14,670	0.86	0.85
H25(2013)	13,465	14,384	0.94	1.02
H26(2014)	13,357	12,999	1.03	1.17

図 3.1 近年の求人・求職数の推移（パートを含む全数）



参照：ハローワーク十日町 統計（H27.6月号）

図 3.2 常用雇用の職種別求人・求職のバランス



参照：ハローワーク十日町 統計（H27.8月号）